



# 謹賀新年

今年もよろしくお願ひします



理事長 古倉 みのり

旧年中は皆々様より格別のご厚情を賜りましたことを御礼申し上げます。

甲南病院は、昨年4月からの目標として『在宅医療』『健診』『透析医療』の更なる充実を掲げて参りました。発展にゴールはありませんが、「在宅医療支援センターこうなん」の開設をはじめとし、年度末に向けて着々と当面の目標達成に近づいております。昨年まで大きな問題もなく、法人運営を出来たことに安堵し感謝しています。皆様からの大きな温かいご支援の賜物だと感じております。ありがとうございます。地域の皆様の健康回復と維持に少しでもお役に立てるよう、本年も一層努力致します。これまで以上に、切れ目のない医療・介護をお届けできるよう、「淡海あさがおネット」「びわ湖メディカルネット」といったICTシステムの利用を法人全体に広げ、地域の関連施設の皆様との情報共有を密にして連携を強化します。

当院が実施しております地域の皆様への「出前講座」も大変ご好評をいただいております。認知症、栄養、運動など皆様が知りたい情報を楽しく、わかりやすく、時には歌や音楽演奏も取り入れてお話しさせていただきました。回数は30回を超えました。お招きいただいた住民の皆様、ありがとうございました。本年もどうぞお声かけください。

昨年11月には、大分県杵築(きつき)市の地域ケア会議を視察させていただくという機会を与えていただきました。ここ甲賀においても学んだことを実行して行く所存です。その視察の折に、もう一か所、『ディケアセンター楽』という素敵な施設を見学させていただきました。そこで作業療法士の佐藤孝臣さんより、運動がいかにかに人に生きる自信を与え、幸せにするかということをとくさん学びました。当法人の副理事長である磯矢英士医師(整形外科医)は、常日頃、入院されている患者さんの筋力がもっと上がるように、自ら行動できる力を回復していただけるようにと、リハビリテーション部、看護部、介護部に指導をしております。筋力アップのための簡単で具体的な方法を学んで参りましたので、今年は一緒に視察に参加させていただいた甲西リハビリ病院の田中成浩院長(整形外科医)と共に、甲賀圏域においてリハビリテーションの充実を図ります。病気になる前からの対策が大切です。どうぞ楽しみにしててください。



脚がふらふらして歩けない、この先どうして生きて行けばよいのかと不安に思っている方の力になります。もちろん急性期医療においても、最新の医療を受けていただけるよう日々の精進を怠りません。患者さんの思いをもっと理解できるよう、思いやりにあふれる対応ができるよう、職員教育を強化します。病気で不安と苦しみを背負っておられる方々にとって、もっと身近な存在となり、もっとお役に立つことができるように、これからも職員一同、力を合わせて、進んで参ります！

本年もどうぞご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。  
今年も明るく前向きに頑張ります。

平成29年1月

